基本理念
安心・安全で活気に満ちた
信頼される十津川第二小学校

令和２年度(４年目)：令和２年度　　十津川村立十津川第二小学校

《学校教育目標》かしこく、明るく、たくましく、豊かに創造する子

児　童　**夢と志をもって努力する**

- **意欲**をもって遊ぶ・学ぶ・挑戦する
- **自分で**考え、進んで行動する
- 自分と他の人を**大切**にする
- 郷土を**愛し**、地域に**貢献**する

【人材育成の基本方針】
◎教職員一人一人の能力と意欲の向上を図り、学校を活気づける人材の育成

- ○　資質向上に努め、誰もがわかる授業をする教師
- ○　児童に寄り添い、心の変化に気づける教師
- ○　責任感があり、チームワークを大切にする教師
- ○　児童・学校・地域を愛し、誇りをもっている教師

児童と共に行動する教師

結束

安らぎと信頼があり活気あふれる　**学　校**

- **確かな学力**の育成を目指す
- 温かな『**ふれあい**』と『**息遣い**』がある
- 児童・保護者・地域から**信頼**される
- 人々の**安心・安全**が守れる

自己評価・学校関係者評価を生かした人材育成の推進

学校評価委員会
学校運営協議会
保護者アンケート
児童アンケート
教師アンケート

↑

学校開放ウィーク
授業参観・懇談会
家庭教育学級
学校行事・PTA 行事等

↑

学校評価計画表

↑

校内運営委員会
学校自己評価結果の共有
前年度 学校教育のまとめ

チームとしての学校

○協働の実践
- 教材教具及び収納室の整理（教師が使用しよい環境）
- 十二小学びのスタンダード
- インクルーシブ教育の推進
- 学校評価による課題の共有

○ベテランの指導力の活用
- 若い教員への知識・技能の継承
- 校務分掌の適正化(グループ化)

○報・連・相の徹底
- 研究主題に迫る**授業研究**の充実
- 研修会等参加後の**伝達と共有**
- 危機対応／**緊張感**のある対応
- 食の安全／**安心安全な**給食実施

○関わり方のコツの意識
- ソーシャルスキルトレーニングの活用
- 「ほめ方」と「叱り方」のコツの意識

気づきから行動へ

○課題の解決
- 夢や志を育む取組の充実
- 児童に寄り添い、心の変化に気づく
- 気になる子の情報共有と対応
- よさを認め、伸ばす指導

○小中一貫教育の視点に立った中学校や保育所及び高校との連携（十津川地域連携教育推進）
- 将来のために高めておきたいスキルの育成

○地域人材・組織等の活用
- 体験させ、気づきへと

○地域行事への積極的な参加
- 郷土芸能・文化等の関わりから気づきへと

キャリア段階に応じた学び

- 管理職の授業観察を継続的に行い、授業力の向上を図る
- 情報の整理と活用能力の向上（ICT 教具・テレビ会議 S 他）
- 人事評価制度の活用
- 採用試験等の受験者への支援（面接・論文指導等）
- 年次研修会の参加支援
- へき地教育研究大会など同規模・同研究教科の研究会への参加奨励
- 専門分野の積極的研修

職場の環境づくり

- ユニバーサルデザインによる学びの環境づくりの継続
- 心地よい職員室、安心できる人間関係づくり（認め合える言葉がけ・心配り）
- 一方的な視点ではなく、違う角度から考え見つめ直す姿勢
- 「愛着」の視点から同僚や児童・保護者と接する態度
- 服務規律の維持
- レクリエーションや親睦会の随時開催
- 掲示板・ホームページの更新
- 気づきの伝達と素早い補い（修繕・備品補充と人間関係性）

開　　示（３月）

↑

個人面談（２月）

↑

最終報告(１～２月)

↑

授業等観察

↑

中間報告・修正(11 月)

↑

授業等観察

↑

個人申告・面談（６月）

学 校 運 営 協 議 会(校長・保護者・地域住民・教職員他)

『融合』と『新規』、『定着』、『発展』から取組の検証と整理

４年目　**○本校教育の課題の整理　○克服に向けた実践　※教育課程の改正と決定**
◎足下を見つめ直し、子どもの力になる指導、子どもの心に落としていく指導《丁寧な指導》に努める。

前年度の学校評価分析 → **働き方の安定化** {分掌複数担当、会議の効率化(事前の段取り)、計画的実践} → 学校経営計画（グランドデザイン） → 自己申告評価シートの作成

教職員一人一人が輝き、力を発揮できる職場環境づくり(ゆとりある職場・機能的合理的な職場・メンタルヘルスへの配慮)